

がまんや忍耐ではない 炭素文明からの脱却という新たな挑戦！

ドキュメンタリー映画

Wende 2

未来へのアプローチ

プロデューサー
竹内 守
監督 高垣 博也
撮影 安田 淳一
照明 はのひろし
録音 岩瀬 航
音楽 小林 一尚
ナレーター
都築 俊

杉山範子



協力

東海学園大学 名古屋キャンパス

長野県辰野高校

豊田市

福知山市

亀岡市

鈴鹿市

長野県

主題歌「輝く地球の MIOTSUKUSHI 2022vr」

作詞 希咲

作曲 小林 一尚

唄 くりたふみこ

小林 一尚

©2023ヴェンデ2 製作委員会



Covenant of Mayors
for Climate & Energy JAPAN
世界首長誓約 / 日本





オセロの駒がひっくり返っていくみたいは、持続可能でない社会を地域からひっくり返して 持続可能にしていく事をめざしたい

社会の仕組みを変える

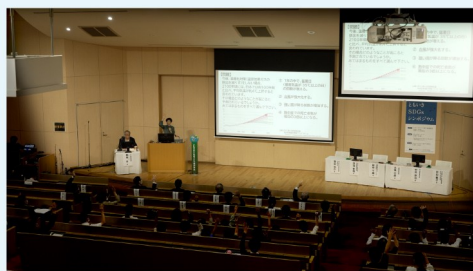
今、多くの方が思っている地球温暖化対策は、CO₂の削減です。

2021年、気候変動対策の一つの柱である緩和策として自然エネルギーの取組みを紹介した「ヴェンデ〜光と水のエネルギー〜」を制作しました。

省エネや節電は個人で参加できる大切な温暖化対策ですが、自然エネルギーへの転換は、個人レベルでは取り組みが難しいものです。

しかし、今、温暖化対策の遅れが気象災害の激甚化を招いています。地域によって対策は異なりますが、生活スタイルを変えていくことが重要です。これを適応策と言います。それは様々な分野に及び、地域によって異なる対応が求められています。

WENDEとはドイツ語で大改革の意味。化石燃料から自然エネルギーへと転換するエネルギー革命の意味でも使われる。



緩和策と適応策

CO₂を減らすという緩和策は地球規模で行われますが、適応策は自分自身の健康であったり、食料の問題であったりします。地域の問題であり、それは必ず解決しないといけない課題です。地域にどんな弱点があるのか、どんな影響が出やすいのか？ 地域で考えて対策が必要になります。だからこそ、適応策は難しくなります。

社会、経済、文化、すべてに気候は関わっています。それが根本的に変わっていくのが気候変動。変わる気候に対して私たちは適応せざるを得ません。農業、健康、防災などの分野、それぞれが別の事ではなく、全部やらなければなりません。すべての分野、すべての地域にあるからこそ、身近な対策でもあります。

身近にある変化を感じ、個々人が地域を知り対策していかなければなりません。

緩和 とは？ 「原因を少なく。」

2 気候変動対策

適応 とは？ 「影響に備える。」

気候変動による人間社会や自然への影響を回避するためには、温室効果ガスの排出を削減し、気候変動を極力抑制すること（緩和）が重要です。

緩和を最大限実施しても避けられない気候変動の影響に対しては、その被害を軽減し、よりよい生活ができるようにしていくこと（適応）が重要です。

主な出演者

- 杉山 範子 / 名古屋大学 大学院環境学研究科 附属持続的共発展教育研究センター 特任准教授
- 一ノ瀬 俊明 / (研) 国立環境研究所 上席研究員 社会システム領域
- 浜田 崇 / 長野県環境保全研究所 自然環境部 温暖化対策班
- 松井 利夫 / 陶芸家 かもおか霧の芸術祭総合プロデューサー
- 島田 勇巳 / 高槻バイオチャーエネルギー研究所
- 井上 保治 / 一般社団法人 日本クルベジ協会 理事
- 布施田 雅浩 / (有) 童仙房茶舗

上映情報など、最新のお知らせをお届けします。

LINE 友だち追加



AFF2 ARTS for the Future AFF2 (Arts For the Future)とは 文化庁 令和3年度補正予算事業でありコロナ禍からの文化芸術活動の再興支援事業です。